

令和5年度 岩手県立釜石高等学校経営計画（全日制）

校長：青木 裕信

1 校訓・教育目標	1 校訓：「文礼一如」 2 教育目標：「知・徳・体」を備え、調和の取れた人間形成 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 広い視野を持ち、社会に貢献する人材の育成													
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	・確かな学力を身につけ、変化し続ける社会の中においても学び続けることで、可能性を切り拓く意志（こころ）を持った生徒を育てます。 ・社会の中で自らの価値を発揮しようとする姿勢を持ち、将来のあるべき姿を思い描ける豊かな意志（こころ）を持った生徒を育てます。 ・失敗しても立ち直り、必要なときには勇気を持って他者に助けを求めることができる、鋼鐵（はがね）の強さとしなやかさを持った生徒を育てます。												
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・高校での学びが社会生活に活かされると実感することで、学が意義を理解し、自ら課題を発見し解決しようとする姿勢を培います。 ・学校内外のさまざまな人と関わる中で、多様な生き方のモデルを獲得し自らの強みを発見して自分の進路を見通す力を養います。 ・学校が生徒の身体・精神の安全が保障される場であることを前提として、生徒が自ら挑戦し、行動することで自立を促す場として機能するカリキュラムを進めていきます。												
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	・これまでに学んだことを釜石高校での学習に活かし、自分の興味ある分野に留まらず幅広い学問領域について学ぶ意欲を持った生徒。 ・自身と価値観の異なる相手ともコミュニケーションを取ろうとする、他者に対して開かれた姿勢を備えた生徒。 ・やりたいこととやるべきことの折り合いを付け、規則正しい生活習慣を積み重ねることができる生徒。												
3	魅力化協働パートナー	学校関係者、地域関係者、SSH関連関係団体、その他												
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">重点目標</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">達成指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 生徒が教科横断的な授業を通して学力の向上を実感している</td> <td>・授業の説明が分かると答えた生徒の割合【80%以上】（後期授業アンケート）</td> </tr> <tr> <td>イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している</td> <td>・大学進学希望達成率【85%以上】</td> </tr> <tr> <td>ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている</td> <td>・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【60%以上】（SSH発表会アンケート）</td> </tr> <tr> <td>エ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている</td> <td>・学校で生き生きと生活していると答えた生徒の割合【7.7以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）</td> </tr> <tr> <td>オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</td> <td>・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【8.5以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）</td> </tr> </tbody> </table>	重点目標	達成指標	ア 生徒が教科横断的な授業を通して学力の向上を実感している	・授業の説明が分かると答えた生徒の割合【80%以上】（後期授業アンケート）	イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している	・大学進学希望達成率【85%以上】	ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている	・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【60%以上】（SSH発表会アンケート）	エ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている	・学校で生き生きと生活していると答えた生徒の割合【7.7以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）	オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【8.5以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）
重点目標	達成指標													
ア 生徒が教科横断的な授業を通して学力の向上を実感している	・授業の説明が分かると答えた生徒の割合【80%以上】（後期授業アンケート）													
イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している	・大学進学希望達成率【85%以上】													
ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている	・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【60%以上】（SSH発表会アンケート）													
エ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている	・学校で生き生きと生活していると答えた生徒の割合【7.7以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）													
オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【8.5以上（10段階評価法）】（学校評価アンケート）													
	(2) 取組方針	ア 授業の充実と教科横断的な授業の実践 (7) 互見授業・授業研究会や外部研修会を通じた授業改善 (4) 各教科における教科横断的な授業の実践 イ キャリア教育を通じた生徒の将来設計への支援、進路希望の実現 (7) 3年間を見通した、生徒の適性やニーズに応じた計画的な進路指導 (4) 復興担い手育成支援事業（進学）を活用した講座等への参加 ウ 多様な人材と連携・協働した探究的なゼミ活動の展開 (7) 全生徒・全職員によるゼミ活動の充実 (4) 地域の教育資源の活用や関係諸団体との連携・協働 エ 安全・安心な教育環境の提供 (7) 相談室会議を中核とした教育相談体制の運営 (4) 防災教育を中心とした学校安全管理の推進 オ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7) 「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組とその改善 (4) 「抱え込み」のない、「学校いじめ対策組織」を中心とした情報共有と組織対応												